

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日	1月 ~28日	2月 ~4日	2月 ~11日	2月 ~18日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	7	8	10	12	11	7 (10)	5
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	14	17	14	21	15	13 (16)	6
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0	2	1	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	2	3	2	7	3	2 (3)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	3	1	3	5	4	2 (3)	1
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0	0	0	2	0 (1)	1
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4	2	5	4	2	3

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他の1件は、プレジオモナスでした。

* 前回のその他の1件は、アエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第7週(2月12日~2月18日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8		2			5		1
三類	1	細菌性赤痢	1							1
四類	0	発生なし	0							
五類全数	4	後天性免疫不全症候群	1					1		
		水痘(入院例)	1	1						
		梅毒	1					1		
		百日咳	1					1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第7週 2/12~2/18)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

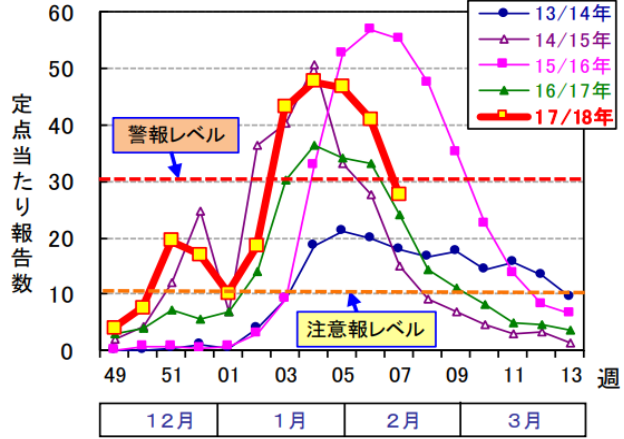
定点当たり27.8人と前週よりやや減少し、警報レベル(注1)を下回りました。流行のピークは過ぎたと考えられますが、まだ注意報レベル(注2)を超えています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第7週に31件発生し、依然として報告が続いているため、引き続き健康管理に十分注意し、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防対策を徹底しましょう。

なお、第7週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が91人、B型陽性が346人報告されています。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり7.58人の報告がありました。また、ロタウイルスによる感染性胃腸炎が、基幹定点から4週続けて報告されています。

インフルエンザの流行状況



(注1) 警報レベル: 定点当たり30.0人
(注2) 注意報レベル: 定点当たり10.0人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減	
												急増減	増減
フィル	インフルエンザ	1030	27.84	27.60	◇	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.52		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	3	0.13	0.35	◇	眼科	RSウイルス感染症	11	0.46	0.29		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.42	2.19	◇		急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	182	7.58	7.00	◇	基幹	流行性角結膜炎	3	0.38	0.43		横ばい	ほとんど増減なし
	水痘	3	0.13	0.62	◇		細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	
	手足口病	2	0.08	0.27	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.03			
	伝染性紅斑	-	-	0.31	◇		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20			
	突発性発しん	3	0.13	0.30	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	ヘルパンギーナ	-	-	0.03	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0.43	-			

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	17	女性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・推定感染地域: 国外・1人、男性(50歳代)・1人、女性(50歳代)・推定感染地域: 国外・1人、女性(80歳代)・1人
5	後天性免疫不全症候群	1	2	男性(40歳代)・エイズ
5	梅毒	1	15	男性(30歳代)
5	百日咳	1	2	女性(10歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.6) 鼻炎	2	女	2018/01/10	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の疾患	発熱(37.6) 項部硬直 意識障害	3	女	2018/01/04	尿	サイトカロウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載